

学校だより青南

2月号

令和5年2月1日

港区立青南小学校

校長 野口 直樹



春に向けて

校長 野口 直樹

今週末には、立春をむかえます。二十四節気の春の訪れを表す言葉です。とはいえ、私たちがイメージする春を感じるには、まだ寒く春らしさはなかなか目に見えません。ですが、この厳しい寒さの中にも、春の訪れを感じる事が身の回りにはいくつもあります。それらは、時に私たちの目にふれ、または、目に見えないが静かに季節を進めています。

もうすぐ、白梅や紅梅が、開花をむかえ季節に明るさを添えます。また、本校のソメイヨシノにも花芽が出てきており、季節が、春へと移り変わろうとしているのを感じることができます。今は正に、春に向かった準備を自然界では、少しずつ進めているのです。

桜の木が春に向けて準備をしていると思うときに、中学生の時の国語授業で学習した「言葉の力」を思い出します。大岡 信さんの作品で、京都在住の染色家 志村ふくみさんとのエピソードにふれ、言葉の力について述べられていました。もう数十年前であるにも関わらず、私がおの教材文のことを覚えているのは、作中に出てきた桜色に糸を染める原材料が意外なものであり、筆者と共に驚き、とても心が動かされたからだと思います。そのエピソードは、次のようなものでした。

筆者が志村さんの取材中に美しい桜色の糸で織った着物を見せてもらいました。その桜色の出どころについて、尋ねたところ志村さんは、桜の樹皮から染め物の色を取り出していると答えました。あのごつごつしたあの黒い樹皮からです。さらに、志村さんは、時期がいつでもいいわけではなく、桜の花が咲く直前の頃の桜の樹皮を使うと、とても綺麗な桜の色が取り出せるということも筆者に伝えたというものでした。

桜は、きれいなあの桜色の花を咲かせるために、木全体でその桜色を出すために花が咲く準備をしていると考え、当時の私は、とても神秘的な感じがし、感動したのを覚えています。

また、春に向けてではありませんが、この季節に次に向けて作業が始まるものがあります。寒仕込みです。大寒、立春の頃に味噌や酒造りを始めます。寒仕込みがよいのは、寒い時期であると発酵がゆっくり進むことや水や原材料に雑菌が少ないことでおいしく良いものができるからだそうです。

青南小学校の子どもたちも、今次のステップに向けた準備を進めています。6年生は、進学に向け、1～5年生は、進級に向けた準備を行っています。

6年生は、これから、卒業におむけて、「ありがとう SEINAN」や「卒業式」の準備を進めていきます。その姿が、在校生のあこがれる姿となることを私たち教職員は願っています。

令和4年度も残すところあと2ヶ月です。それぞれの学年で、この春に向けて一人一人が着実に次のステップに向かっていけるよう教育活動を行っていきたく考えます。

2月の生活目標 【寒さに負けず元気に生活しよう】

生活指導部

2月4日(土)は立春です。暦の上では春が始まる日ですね。まだまだ風が冷たい日もありますが、子どもたちが季節や気温に関係なく元気に外遊びをしている姿を見ると、私たち教員も、まだまだ負けないぞという気持ちになります。体力は1日にしてならずと言えるように、日々の積み重ねによって保たれています。そこには心の健康も大いに関わっています。気持ちが落ち込んだり、ストレスを感じたりしていると免疫力が低下して体調を崩してしまうことがあります。信頼できる人に相談する、趣味を見つける、たくさん寝るなど自分に合ったリフレッシュ方法を見つけてください。

また、優しい言葉を使うことは相手の心も自分自身の心も穏やかにしてくれます。楽しい学校生活を送るためにも、思いやりの心を育てていきましょう。

【2年】

低学年として過ごす時間は残り僅かとなり、4月からは中学年になる2年生です。3学期は3年生になる大切な準備期間だという話をすると、ドキドキわくわくしながらも、少し気を引き締めた表情をした子たちも多くいました。「自分たちで気付いて行動すること」、「学習と遊びの切り替えをすること」、「時計を見て時間を守って行動すること」を特に意識し、学年全員でレベルアップできるよう頑張っています。

1月には、書き初め会が行われました。1年生から一文字一文字学習してきたことや、書写の時間に学んできたことを生かして丁寧に取り組みました。字形や全体のバランスにも気を付けて書き、書き終えた後の大きな一息が、集中して書いたことを表していたように感じました。また、健康力アップウィークでは、休み時間にダンスや縄跳び、持久走に真剣に取り組み、体力の向上を目指して意欲的に活動しました。

【4年】

あと2カ月で高学年の仲間入りをする4年生。3学期より、高学年に向けての意識を少しずつ高めています。縦割り班活動で、下級生に分かりづらい部分を教えてあげたり、5年生のサポートをしたりする姿などが多く見られるようになってきました。4月から、青南小学校の高学年として、6年生をしっかりとサポートしていけるようにします。

もう一つ、3学期になってから強く意識し始めたことがあります。4月から「全力」「協力」「責任」「貢献」「楽しむ」の5つを合言葉に日々の授業や行事に取り組んできました。3学期は、この5つに加えて「感謝」も強く意識していきます。これまでの自分たちの成長に関わってくれた全ての人たちに感謝をして4年生を終えることを目指します。「二分の一成人式」ではお家の方々に、「ありがとう6年生」では6年生のみなさんに、そして「修了式」の日には今まで共に頑張ってきた学級や学年の友達に感謝の気持ちを精一杯表現して5年生へと進級して行ってほしいと思っています。

【 音楽 】

昨年度は、歌唱、器楽等共に音を奏でるための制約があり、なかなか子どもたちの歌声や演奏を聴くことができないままの状況が続いていました。今年度は、少しずつ一人ひとりの声や鍵盤ハーモニカ、リコーダー等の音色を聴き合う時間が増えるようになってきました。1年生は、新1年生を迎えるために演奏する歓迎の曲を練習しています。2年生は、「夕やけ こやけ」の歌詞から様子や気持ちを想像して、聴いている人に伝わる声の出し方や歌い方を工夫して歌っています。3年生は、初めて学習するリコーダーをとて美しく奏でています。4年生では、リコーダーで、「サミング」（高い音を出すための奏法）の仕方を学び、フレーズをなめらかに一息で吹く練習をしています。5～6年生は、卒業式を見据えて、歌と合奏に取り組んでいます。昨年度に引き続き、KISS ポート財団の方や、東京交響楽団の方にご協力をいただき、体育館にて、バイオリンや日本の楽器等の鑑賞教室を開催することができました。今後も音を楽しむ時間をつくっていききたいと思います。

【 運動委員会 】

運動委員会では、学校の運動に関する仕事を担っています。普段の活動としては、ボールの空気入れや竹馬・一輪車の整理を行います。委員会の時間には、体育倉庫や体育用具の整理整頓を行います。みんなが安全に使えることや使いやすいことを意識して取り組んでいます。

また、運動に関するイベントを計画し実施することも行いました。今年度行った活動は、開校記念週間の取組です。今後、体を使った遊びの紹介も行います。話し合いの中で、1年生から6年生までの誰もが楽しめるようにすることやスムーズに進行していくこと等を考えながら話し合いました。当日の進行ではもっと楽しめるようにと日々改善を加えながらよりよいものになるように努力しました。また、「健康力アップウィーク」に積極的に取り組んだり、必要に応じて補助をしたりしました。

5年生9人、6年生9人でこれからも協力して活動し、学校全体の体力向上につながるように頑張っていきます。

【 給食委員会 】

給食委員会は6年生9人、5年生9人の計18人で活動しています。主な活動として、2階、3階にある栄養黒板にその日の給食メニューを書き、みんなに知らせています。また、その日の給食材料を体内での3つの働きに分け材料マグネットをはり、栄養のバランスについても分かりやすいよう工夫しています。毎月の「給食のめあて」を目立つよう素敵に色塗りもしています。それぞれが責任をもって活動しているところです。

先日の開校記念週間では栄養士さんや調理員さんの大変さを知ってもらおうと劇を行い、それを録画し公開しました。みんなに少しでも給食に興味、関心をもってもらうと奮闘しています。

3学期には、給食委員会企画給食を計画しています。みんなが残さないメニューにしつつも、栄養バランスも栄養士さんと考え企画しているところなので、楽しみにしててください。

【 ソフトボールクラブ 】

ソフトボールクラブでは、準備運動、キャッチボールの後、試合が始まります。野球経験のある人、そうでない人、どちらでも楽しめるように、ルールを自分たちで工夫しながら取り組んでいます。試合の時には、6年生が中心となってチームのメンバーを分け、試合に臨みました。試合が始まれば学年を越えて「がんばれ」「こっち守るから、そっち守って」「ナイスバッティング」などの声が活発に飛び交います。バッティングや守備の上達だけでなく、ミスをした後の切り替えなども上手くなり、円滑かつ接戦の試合が増えました。雨の日は教室でプロ野球選手の動画を見たり、体を動かすトレーニングを行ったりしました。コロナに負けず、ソフトボールクラブは大変元気に盛り上がっています。

今学期も残り2か月。これからは、5年生を中心にお互いに声をかけ合い、自主的な運営ができるように取り組んでいきます。

【 体育館運動クラブ 】

体育館運動クラブは、体育館でできる運動の中から話し合いでやりたい運動を決めて活動しています。ドッジボールやバスケットボール、鬼遊びなど様々な運動を行いますが、「全員が楽しめること」を常に大切にしています。

6年生24名、5年生8名、4年生3名で活動しており、6年生がとて多いクラブです。6年生は最高学年として、企画の段階からクラブの活動時間まで、下級生を思いやりながら取り組んでいます。4・5年生はその姿を見ながら、自分達ができることに一生懸命取り組んでいます。

毎回ルールを少しずつ工夫することによって同じ種目でも楽しさが変わり、いろいろな楽しみ方を見つけながら取り組む、高学年ならではの姿があります。全員が楽しむためには、ルールを守ることがとても大切になります。高学年として、一人一人がルールをしっかり守ることで、4～6年生の全員が様々な運動を楽しむことができます。